

家族会総会

北原荘家族会総会が4月26日に開催され、
 ①令和7年度事業報告・収支決算・監査報告、
 ②令和8年度事業計画(案)・収支予算(案)について協議され、原案通り承認されました。

また、役員補選を行い、新会長に古川幸一様(前副会長)、新副会長に小澤寛様(新任)、監事に矢部信子様(同)が選出されました。

役員の皆様、本年度もよろしくお願いたします。また、会員の皆様はぜひ家族会活動に積極的にご参加ください。

喜多方市議会だより取材



特集コーナーに掲載されました

『喜多方市議会だより』(第65号)の特集コーナー「おじゃまします市議会です」において、地域の高齢者福祉を支える特別養護老人ホームを取り上げるということで、3月下旬、広報公聴委員会の佐原正秀委員長、渡部忠寛委員、田中修身委員、鈴木守委員が直々に当施設へ取材にみえました。

紙面の都合上、掲載されたのはごく一部でしたが、当日は、当施設の理念や排泄ケアの取り組みなどについてお話をさせていただきました。施設をご覧になるのは初めてという議員の方もおられ、高齢者福祉をめぐる課題に目を向けて頂く良い機会となりました。

北原荘居宅介護支援センター

笑顔と真心をモットーに地域の相談窓口としての機能を充実させ、皆さまにとって身近な事業所を目指してまいります。
今年度より7名体制となりました。
お気軽にご相談ください。

電話：0241-23-5963 (ニイサンゴクロウサン)
 FAX：0241-23-5578
 Eメール：kyotaku@tenshinkai.or.jp



令和7年度 サービス評価結果

サービスの質向上を目指し、本年度も「サービス評価(自己評価)」を行いました。各評価項目の評価結果は【別表】の通りです。

前年度と比較し、認知症の状態に配慮したケアについては、「できているが十分でない」から「できている」に評価が上がりました。認知症ケア委員会を中心に、昼食前の「民謡体操」を復活させたり、ご利用者様に野菜の皮むきを行って頂いたり、活動の内容を広げています。反対に、利用者の心身の状況に合わせた移動支援については、転倒事故があったため、「できている」から「できているが十分でない」に評価が下がりました。

また、コロナ禍以降、ご利用者様とご家族様が一緒に参加できる行事が減ってしまったとの意見があったため、本年度は家族会を通じた活動や施設行事へのご家族様の参加などの機会を増やしていくこととしました。評価結果を今後の取り組みにつなげていきたいと思っております。

【別表】評価結果一覧

評価項目	評価	
	R7年度	R6年度
利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	b	b
利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	b	b
利用者の権利擁護に関する取組を徹底している。	a	a
福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。	b	b
入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	a
排せつの支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	a
移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	b↓	a
食事をおいしく食べられるよう工夫している。	a	a
食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	a
利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	b	b
褥瘡の発生予防・ケアを行っている。	a	a
介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。	a	a
利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	b	b
認知症の状態に配慮したケアを行っている。	a↑	b
利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順を確立し、取組を行っている。	a	b
利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立し、取組を行っている。	a	a
利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	b	b

a…できている。b…できているが、十分ではない。c…できていない。
 ↑…令和6年度より改善